

平成21年第4回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成21年4月23日(木) 午前10時06分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者

古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、小林学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、金子生涯学習課長、捧中央公民館長、坂井学校教育課主幹、西山小中一貫教育推進室主幹、駒形教育総務課長補佐、藤井企画調整担当、阿部教育総務課庶務係長

- 5 傍聴人 2人

6 議 題

(1) 前回会議録の承認

平成21年第3回教育委員会定例会会議録について

(2) 報 告

報第1号 平成20年度第3回三条市社会教育委員会議会議録について

報第2号 平成20年度第3回三条市公民館運営審議会会議録について

報第3号 平成20年度第3回三条市図書館協議会会議録について

(3) 議 事

議第1号 三条市社会教育委員の委嘱について

議第2号 三条市公民館運営審議会委員の委嘱について

議第3号 三条市図書館協議会委員の委嘱について

議第4号 三条市文化財保護審議会委員の委嘱について

(4) その他

次回教育委員会定例会の日程について

7 審議の経過及び結果

(1) 会議録の承認

長沼委員長から平成21年第3回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定

(2) 報 告

・報第1号 平成20年度第3回三条市社会教育委員会議会議録について

金子生涯学習課長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

団塊の世代の活用はどこでも言われているが、団塊の世代の方たちからの希望は具体的にあるのでしょうか。

(金子生涯学習課長)

漢学の里のボランティア講座のときに、退職後に社会の役に立つような場がないかと参加させてもらったという方が2人ほどいた。特別に問い合わせ等はないが、応募者の

中ではそういった声があった。

(渡辺委員)

3点ほどお願いします。まず1点目は成人式の服装ということだが、成人式をどう捉えるかということも大きな問題があると思う。こういう問題があるということは、教育長も言っておられたが、教員委員は申し合わせで略礼服でということが決まっていたと思うが、同じ式に出席するので統一した方がいいと思う。

2点目は、社会教育委員との連携協議だが、私は教育長の答弁に賛同する。ただ情報交換ではあまり意味がないのではないかと思う。目的がはっきりしていればやる意義もあろうかと思うが、曖昧な点であればあまり意義がない気がする。

最後に、課長から資料の説明があったが、非常に重要な資料と私は考える。目を通す時間がないので、議案書と一緒に配布していただければと思う。

(金子生涯学習課長)

大変失礼した。間に合わなかった部分があった。

(松永教育長)

まず服装の件について、基本的に考えておきたい。1点目は、金子生涯学習課長が言ったのは、成人の和服の女性がショールを巻いてステージに上がったことが、いわゆる和服のマナーに合わない。それはこちらの指導不足であり、今後とも気を付けなければならぬと思う。

それから、社会教育委員方が平服で来られたが教育委員が略式礼服で来られたことに対し、同じスタイルで行くべきではないだろうかという疑問を出された。これについて、今まで成人式は三条市と教育委員会の主催だったが、今年から生涯学習課が市長部局に行き、主催が三条市になった。教育委員会が主催から外れた。それで今回はあえて生涯学習課長が、市長、副市長、教育長だけは略式礼服で、あとは平服でもいいのではないかとあった。したがって、来年度に教育委員が出席するときは、私は平服でもいいのではないかと感じている。市の主催なので市の理事者が礼服を着て臨めばいいのかなという気がしている。この辺についてはまた、生涯学習課長の話を聞いてみたいと思う。

2つ目の話の中であった社会教育委員との連携協議の問題については、私は単に顔を合わせればいいというものではなく、お互いに持っている問題を出しながら、三条市の教育や生涯学習の在り方等についていろいろと協議することはやぶさかではない。それについてどういうことを協議するかということについては、生涯学習課なり、子育て支援課、学校教育課、教育総務課なりがそれぞれ持っているものを生涯学習課との間で話をして、せつかく提言書があるわけなので、この提言書を活かすならばどんな形の連携協議ができるか、それを今後の課題として受け止めていきたいと思いますということでこの提言書は処理していきたいと思っている。

(金子生涯学習課長)

成人式については確かに教育長の言われるとおりで、今後教育委員については平服でもいいと考えている。教育長は教育委員でもあるわけだが、理事者と考え略礼服という考

え方でさせてもらいたいと思っている。

社会教育委員の会議の中で、委員がこれから替わるわけだが、その中でまたどういふふうな場を設定した方がいいのか、あるいは持ち方、また教育委員の考え方を伝え、今後のことを会長と相談しながら固めたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

(長沼委員長)

服装のことで言えば、成人する方は一生に一度の晴れ姿なのでその辺にバランスを合わせ、平服でもバランスを考えていただければそれなりのものになるのではないかと。

さっきの話に戻るが、団塊の世代の方々はもちろん私どもの連れ合いの方々が多いが、何をしたいか分からない。ポイントを絞ってボランティア講座というと、いや、そんなことは嫌だ、生き物何とかといういやそんなものはと、学校の手伝いという、自分の子供はもう小さくないからと言う。

だからいっそのこと、退職なさった方の講座として集まってくると、いろいろな能力や経験がある方がおられるので、そこでかえってアイデアが出てくるのではないのでしょうか。もしくは、退職なさったご主人を抱える奥様方の講座など、そういうふうに大きくした方がいいのではないかと。どうもボランティアというと嫌がる。恥ずかしい、人に見られるとかそういうことを言う。応募なさる方はずいぶん意識のある方である。企業などでは退職前にそういう講座をするそうだが、退職された方は寂しい方もおられるようなので、そういう括りもどうかと思ったので申し上げておく。

(渡辺委員)

5ページに「まぶ」のことが書いてある。これを見て、私も実際に現地に行って見てきた。ある小学校では子供を連れて社会科か何かの教科の一環として「まぶ」を見学させていると聞いた。私が見てもどれほどの価値があるのかと思ったが、どんなものだろうか。

(金子生涯学習課長)

「まぶ」という呼び方を下田ではしているが、どういうものかというとき、農業用水だ。時代的には私もよく分からないが、古い時代に農業用水を開通させるときに高低をきちっと測らないと上から下に流れない。それを例えば八木鼻の岩盤をくりぬいて貫通させている。そういった技術について産業遺産になるのか近代化遺産になるのか、ピックアップして調査すべきではないかと文化財保護審議会の中でも検討している。他にはそういうものはあまり見られないという話で、今後調査させてもらいたいと思っている。

(渡辺委員)

「まぶ」そのものは下田にたくさんあるらしいですね。中でもここに書いてある岩崎のもの、八木鼻のものが非常に価値があると言われていたようだ。

(金子生涯学習課長)

事例は違うが、例えば山古志の「掘るまいか」で、手で掘ったものが非常に注目されていたりする。あんな感じで手掘りで行ったと思う。そういった意味で、近代化遺産というのか、産業遺産として特筆できるのではないかとという観点で文化財保護審議会でも、文化遺産として注目している。本格的な調査はまだしていないが、今後予定の中に

組みたいと考えている。

(長沼委員長)

今でも使っているのか。

(金子生涯学習課長)

今も使っている。

全員異議なく承認と決定

・報第2号 平成20年度第3回三条市公民館運営審議会会議録について

捧中央公民館長から説明

質疑に入る。

(松永委員長)

1点目の、二中学区の公民館の名称について、今回皆さん方はどんなお考えですかと軽い気持ちで聞いたのか、あるいはこれを大事にしながら今後考えていこうとするのか、意図がちょっと読めなかった。

普通、嵐南公民館、下田公民館や上林分館など、地名がついているものは分かりやすい。そういう名称の手順というのか、今まで委員さん方に聞いてそれを名称に活かしていこうとする考え方があったのか。あるいは今後名称を付ける手順はどう考えているのか、ちょっと聞かせていただければありがたい。

(金子生涯学習課長)

その辺は生涯学習課で進めている部分もあるので、私の方から答えさせてもらいたいと思う。確かに教育長が言われるように、公民館はその土地の名称があり、それをそのまま採用するというのが一般的だ。栄であればそのまま栄公民館、本成寺地区であれば本成寺公民館となっているが、この地区の名称、土地の名前がはっきりしない。土地の名前を取ると「興野」という土地になり、非常に狭い範囲になってしまう。そこで、どういう選択肢をもらったらいいいのかという中で、公民館運営審議会の方からも意見をもらい、またこれから建築着工に際して説明会を行うので地元からも意見をもらう。その中で理事者等と相談しながら決めさせてもらいたいということで、色々な方からの意見をということでここをお願いした。一般公募までは考えていないので、土地にちなんだ名前等での確なものがあれば、そういったもので名称を考えたい。

(松永教育長)

受け止め方が、委員さん方によってずいぶん格差がある。片方は位置的なもので名前を付けたらどうかと言い、片一方は文化的な立場で、諸橋先生は代表的な人物なのでその号を取って「止軒公民館」と言う。そんなものがあるので、非常に考え方が違う。そういうものをお聞きになって、生涯学習課や公民館運営審議会の方たちが果たしてどう受け止めたのかなと気になった。ただ単に思い付きだけで終わらせればいいのかという会議であっては困るのではないかという気がした。

(金子生涯学習課長)

基本的にはどういう名前がぴったりくるのかをお聞きしたかった。これはまだ決定と

いう意味合いでお聞きしたわけではない。

(長沼委員長)

いつも出てくる充足率のことだが、昨日、毎月になった公民館の映画会に寄せていただいた。大変盛況だった。最初はひっそりしていて大丈夫かと思ったが、年配の男の方がたくさんみえて、とても面白い映画だった。

こういうふうなものが段々増えていくのだろう。最初から満員とはならない。年配の男の方が集まることは珍しい。とても喜んでおられ、映画が始まるときに拍手があった。私の子供の頃は映画館はそうだったのだが、タイトルが出るとすごい拍手だった。その拍手が出て、懐かしい気分でも喜んでおられた。映画館には見る映画がないからと、いや膝が痛い足が痛いと言う方がたくさんおられた。とてもよかった。ありがとうございました。

でも、アンケートは書かないと。私の前におられた方は、アンケートは、こういったものは書けないと、アンケートと言われると困るが、本当にどんどん映画の途中で増えた。私はとてもいいなと思った。ありがとうございました。

(捧中央公民館長)

今回の映画は、冬場の公民館の利用が少ないということで、今までは冬場の期間に行っていた。それが、好評だったということで、今回からは年間を通じて昼間にやろうということで企画をさせていただいた。高齢者講座の方からもぜひご覧をいただきたいということで、高齢者講座の開講式と合わせて映画をご覧いただけませんか。今回は私も見たが、100人近い方がご利用いただけたのではないかと思う。中心市街地にあった映画館は途絶えて久しくなり、高齢者で車がない方はなかなか映画を見る機会がないということなので、今回は3本上映させていただき、よかったねということで委員長さんが言われたようなご評価をいただいた。またいろいろと市民のニーズを汲み取って企画をしていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

(長沼委員長)

とてもよかった。泣いていたりする人もおられた。山本周五郎で、すごくよかった。ありがとうございました。

(松永教育長)

合わせて、公民館の職員が一生懸命やっていると委員さん方からエールを送られ、あるいはねぎらい、お褒めの言葉をいただいているのは大変有り難いことだ。公民館の職員の皆さん方にもそういうことはぜひ伝えて、また頑張ってくださいと思ひるのでよろしくお願ひしたい。

(須佐委員)

この二中学区の公民館だが、これは地区の公民館なのか。

(金子生涯学習課長)

基本的に建てる経緯としては、各中学校区に一館ずつ公民館があるのに、第二中学校区に公民館がないということで第二中学校区に、位置付けとしては地区館という位置付けにさせてもらっている。そのため嵐南公民館や本成寺公民館、栄公民館と同じ位置付

けと考えているが、地理的に中央公民館と近いので、中央公民館と補完しあえるような機能や使い方を持つとうということによって部屋等も設計させてもらっているところだ。

(須佐委員)

地元の人たちは「興野公民館」という。場所が興野なので、そういう方が多い。

(金子生涯学習課長)

さっきも少し申し上げたが、興野以外の方々も対象にしているので、こういったものが名称としていいのかいろいろな意見として聞いているので、参考にさせてもらっている。

全員異議なく承認と決定

・報第3号 平成20年度第3回三条市図書館協議会会議録について

金子生涯学習課長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

ブックスタートで、いただいた本をそこに置いて行かれたということは頻繁にあるのか。

(金子生涯学習課長)

その事例は多くないが、もう一つここで話があったのは、ブックスタートで配本した本がブックオフに並んでいたという話があった。それは会長も言ったが、使い終われば、捨てる人もいればそういう人もいるので、それは仕方ないのでないだろうか、委員さんの中ではそういう話だった。

きちっと子育てが終わってどういうふうにするのかというと、ずっと大事に取っておく人もいるだろうし、また、そうでない人もいるだろうという話だった。

(長沼委員長)

図書館はいつも、ないものでもすぐ検索して他の柏崎やその辺からも本を取っていたことがある。とても迅速にサービスをしていただけるのでありがたいと思う。DVDは1時間20分待ちとか、子供さんなんか休みの日と言われている。しかし、大体の方はそれでも待つと言っているので、可愛そうかなとは思いますが、図書館だから本を中心に、その間に読むと思えば、それもいいのかと私は思って聞いていた。

(金子生涯学習課長)

ご指摘の通り、待ち時間が長くなっているようだ。第一義的には本を読んでもらいたいということがあり、スペースの問題で器機等を増やせないという問題もある。それは、現状のままにさせていただきたいと思う。ただ、マイクロフィルムは情報検索の大事な手段なので、その辺は考えなければならない。

(松永教育長)

指定管理者制度を行って1年目の最初の報告になる。最初は指定管理者に移行することに対して疑問を持っていた運営委員の方もいらっしゃるのではないと思う。最後の委員長のまとめをそのまま素直に受け止めて、図書館の運営については満足していると

皆さん納得されているようで大変喜んでいる。その辺のところは委員さんの方から指定管理者になっても不便はなく、いい運営をされたと行政側も受け止めていいと考えてい
いだろうか。

(金子生涯学習課長)

おおむね委員の声としては好評で、よかったというようなことだと思う。いわゆる時間の延長や祝日の開館であるとかだ。ただ、8ページの副委員長のように、生涯学習課で図書館の以前の司書が生涯学習課の職員となっているのだが、そういった指導面というのか、ここをこうした方がいいのではないかという指導面ではまだ1年目なので、いろいろとお世話したというか、ご指導したという面があるので、2年目からは独自性が出るのではないかと、委員さんの意見もそうだが、2年目に期待したいというものがある。

(渡辺委員)

本の不明資料の件では全体数を話されたが、例年に比べてはどうか。増えているのか。

(金子生涯学習課長)

例年の推移ということでは、平成16年度は不明の資料が961冊、17年度が895冊、18年度が946冊、19年度が645冊とガクッと減ったが、20年度に845冊ということで、この辺で推移していることになる。少し減り、20年度はまた増えたということになる。

(渡辺委員)

私も下田の方をよく利用させてもらうが、担当の方がおられない場合がほとんどだ。借りるときに呼んで来てもらうという状態が多い感じがする。ということは、それなりの盗難防止は当然されていると思う。そんなことからモラル云々という話もあるが、他の市町村の大きな図書館で、何か防止策を取っておられるのではないかという素人の考えだが、聞きながら思った。どんなものだろう。

(金子生涯学習課長)

例えば県立図書館では、貸し出しの手続きを取らずに無断でそのまま持ち出そうとすると、レンタルビデオ店でもそうだが、警報機が鳴るというシステムを行っている。それには初期投資として、本全部にチップを貼り付けなければならない。結構高額な投資が必要なので、20市のそういった状況は把握していないが、多分、県立図書館のようなガードシステムは取っていないと考えている。新聞等にも全国的な傾向で載るときもあり、不明本が最近では都会では増えているというような傾向があるが、三条市ではこういった数字で推移していることが実情だ。また、張り紙等でも本を傷めない、無断持ち出し禁止といった張り紙をしている。

下田のカウンターに人がいないというのは確かめさせていただきたい。どういった状況なのか確認させてもらいたい。人は配置されている。

(渡辺委員)

隣の部屋にはいるので、一声かければ出てきてくれる。

(金子生涯学習課長)

基本的にはカウンター業務なので、カウンターにいますと考えている。ただ、バックヤードがないので、公民館の事務室の机を1つ借り、図書の整備には置かせてもらっている。そういったときだと思うが、委員が言われるようにいつもということではないと思う。

(渡辺委員)

たまたまおられなかっただけかもしれない。分からないが、やはり利用者は、行って聞きたいときもあると思うので、こういう本を探しているがありますかと、カウンターが常設であればと思う。

全員異議なく承認と決定

(3) 議 事

- ・議第1号 三条市社会教育委員の委嘱について
- ・議第2号 三条市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・議第3号 三条市図書館協議会委員の委嘱について
- ・議第4号 三条市文化財保護審議会委員の委嘱について

金子生涯学習課長から一括説明

質疑に入る。

(松永教育長)

それぞれの委員さん方は立派な方で、提案に何も申し上げることはない。幾つか兼ねている方もないわけではないが、兼ねることは幾つまでかは行政課にあると思う。その辺は支障がないか確認したい。

(金子生涯学習課長)

3つの委員までという一応の基準になっている。色々な名前が出ている方については本人に確認し、3つ以内として名前を載せている。

全員異議なく承認と決定

(4) その他

次回教育委員会定例会の日程について

池浦教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成21年5月21日(木) 午後4時00分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成21年4月23日 午前11時05分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成21年5月21日

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子